

ムーミン物語が伝えるさまざまなメッセージを読み解く - 「家庭教育」について共に考える -

長谷川明弘(金沢工業大学)

日時:平成23年6月12日(日)10:00-11:20

場所:愛知県 江南市立布袋小学校 体育館

講演要旨

「ムーミン」はアニメで放映されたり、キャラクターグッズも商品化されたりしており、多くの人にとって馴染みがある。今回は、原作を取り上げ、特に、ムーミントロールとパパ、ママに焦点を当て、物語を読み解きながら、みなさんと家庭教育について一緒に考えたい。

◎ムーミン物語の背景と作品 〈 〉内が邦題

作者:トーベ・ヤンソン Tove Jansson (1914-2001)

- 1) 小さなトロールと大きな洪水(1945;1991)
- 2) 彗星がやってくる 〈ムーミン谷の彗星〉(1946;1968)
- 3) 魔法つかいの帽子 〈たのしいムーミン一家〉(1948;1968)
- 4) ムーミンパパの回想録 〈ムーミンパパの思い出〉(1950;1968)
- 5) なんでもありの夏まつり 〈ムーミン谷の夏まつり〉(1954;1968)
- 6) トロールの不思議な冬 〈ムーミン谷の冬〉(1957)
- 7) 姿のみえない子とその他の物語 〈ムーミン谷の仲間たち〉(1962)
- 8) パパと海 〈ムーミンパパ海へいく〉(1965)
- 9) 11月も終わるころ 〈ムーミン谷の11月〉(1970)

※ 2011年4月から講談社文庫にて新装版が出版されている。

◎主な登場人物

ムーミントロール、ムーミンパパ、ムーミンママ、スナフキン、ミィ、スニフ、スノーク、スノークのお嬢さん、ニョロニョロ、ヘムレン等

講師略歴: 1972年10月愛知県江南市で生まれる。1985年3月布袋小学校卒業。1995年3月の大学卒業まで愛知県で過ごす。その後、新潟、東京にて大学院在籍ならびに臨床心理士として医療機関や相談専門機関(産業領域)に勤める。2003年から金沢工業大学へ勤務し、教育や相談業務の傍ら大学院にて、臨床心理士の養成に携わっている。専門は、臨床心理学(ブリーフセラピー、催眠法、臨床動作法)

開設 WEB 「臨床心理学の扉を開く」 URL は <http://www.k4.dion.ne.jp/~hasebou>

ムーミン物語「ムーミン谷の彗星」を読み進めていく上で -

- 1)冒頭でパパが「川へ橋を渡すこと」の意味？
- 2)スニフは子ねこを見つけます。子ねこは、何を象徴しているのか？
- 3)スニフがこの物語で果たす役割は？
- 4)子どもが怯えてしまっている。外で起こった出来事が頭から離れない。みなさんならば、どうしますか？
- 5)彗星は、何を象徴していたのか？
- 6)ムーミン一家は、家に出入りをする存在を「家族」に制限していない。どういうことを示唆しているか？

メモ：

ムーミン物語が伝える さまざまなメッセージを読み解く

—「家庭教育」について共に考える—

長谷川明弘
金沢工業大学

平成23年度布袋小学校 PTA教育講演会
2011.6.12 10:00-11:20
愛知県 江南市立布袋小学校 体育館

2011/6/12

本日の講演の要旨—はじめに—

- 「ムーミン」
 - 多くの人にとって馴染みがある。
- 今回は、原作を取り上げる
- 物語を読み解きながら、
 - 特に、ムーミントロールとパパ、ママ
- みなさんと家庭教育について一緒に考えたい

• 最後に解釈をお伝えした後、みなさん同士で
家庭教育について話し合う時間を持ちたい。

2011/6/12

ムーミン物語の作者

トーヴェ・ヤンソン Tove Jansson (1914-2001)

- 1914年8月9日フィンランドのヘルシンキで出生。父は彫刻家、母は挿絵画家。スウェーデン語を用いた。
- 10代から風刺挿絵画家として活躍。30代から50代まで主なムーミン作品を発表(改訂版多数)
- 短編小説や画家、芸術家として作品を発表
- 2001年6月27日ヘルシンキにおいて87歳で逝去



作者の写真は芸術新潮2009年5月号16頁のものを使用

2011/6/12

ムーミン物語の背景と作品 〈内〉が邦題

<ol style="list-style-type: none"> 1. 小さなトロールと大きな洪水(1945;1991) 2. 彗星がやってくる〈ムーミン谷の彗星〉(1946;1968) 3. 魔法つかいの帽子〈たのしいムーミン一家〉(1948;1968) 4. ムーミンパパの回想録〈ムーミンパパの思い出〉(1950;1968) 	<ol style="list-style-type: none"> 5. なんでもありの夏まつり〈ムーミン谷の夏まつり〉(1954;1968) 6. トロールの不思議な冬〈ムーミン谷の冬〉(1957) 7. 姿のみえない子とその他の物語〈ムーミン谷の仲間たち〉(1962) 8. パパと海くムーミンパパ海へいく(1965) 9. 11月も終わるころくムーミン谷の11月(1970)
--	--

2011/6/12

ムーミン作品の主な登場人物

- ムーミントロール
- ムーミンパパ
- ムーミンママ
- スナフキン
- ミイ
- スニフ
- スノーク
- スノークのお嬢さん
- ニョロニョロ
- ヘムレン等



登場人物の写真は北陸製菓から発売された食玩を使用(海洋堂が製作)

2011/6/12

ムーミン谷の彗星




表紙: 左側が旧版、右側は 2011年4月から刊行された新装版

2011/6/12

「ムーミン谷の彗星」のあらすじ

- ムーミン谷での生活を始めたムーミンたち
- ある日、美しいムーミン谷の環境が一変する。その理由を突き止めようとムーミンとスニフは、天文台へ向かう。
- 旅の途中でスナフキンやスノークのお嬢さんと出会う。彗星がムーミン谷に向かってくることが理由であると知り、パパとママが待っているムーミン谷へ向かう。混乱して避難を始めるムーミン谷の住民たち、一方、パパとママはムーミンの帰りを待っている。
- 彗星がだんだんと近づいてくる。

6

みなさんに考えていただきたい

1. 冒頭でパパが「川へ橋を渡すこと」の意味？
2. スニフは子ねこを見つけます。
- 子ねこは、何を象徴しているのか？
3. スニフがこの物語で果たす役割は？
4. 子どもが怯えてしまっている
- 外で起こった出来事が頭から離れない
- みなさんならば、どうしますか？
5. 彗星は、何を象徴していたのか？
6. ムーミン一家は、家に入出入りをする存在を「家族」に制限していない
- どういうことを示唆しているか



7

はじめり ムーミン谷の彗星

8

本ファイルをダウンロードした方へ

- 著作権保護のために当日提示したファイルを示しません。
- 興味をお持ちの方は、講談社文庫など刊行されている「ムーミン物語」を入手されることをお勧めします。

2011/6/12

9

ここに注目

- 作者のトーベ・ヤンソンは、意識的に登場人物の台詞に、物語の展開と結末を表現させているようです。



10

ここに注目

- ムーミンは、パパやママのこと、ムーミン谷のことを何度も話題にします
- ここまで何度か話してきました
- この後にも何回か、言及するところがあります




11

ここに注目

- ママがいつもとかわらない行動をしていること
 - 安全基地である「家庭」として機能するためには
 - どっしりと身構えていたり
 - 何らかわらない状態を保っている姿勢
 - が大切なのではないのでしょうか

「大人」は大変ですね



12

おしまい
ムーミン谷の彗星

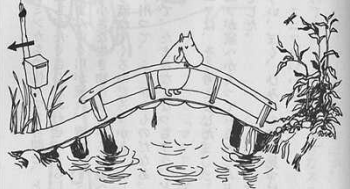

13

このように解釈しました

1. パパが「川に橋を渡すこと」はどんなことを象徴していたのか？

➤ **家庭から社会への橋渡し**

- 親の役割・機能を果たすことを示唆



14

このように解釈しました

2. スニフは子ねこを見つけました。
 - 子ねこは、何を象徴していたのか？

➤ 子ねこは、「勇気」や「挑戦すること」を象徴していたと考えられました。

➤ 読者にも、勇気を持って挑戦することを伝えていきます



15

このように解釈しました

3. スニフがこの物語で果たした役割は？

➤ 主役でないスニフが実は、「ムーミン谷の彗星」では、主役級の働きをしていた

- 臆病なスニフは、勇気をもって挑戦することで成長した
- スニフが発見した洞窟で全員保護

16


このように解釈しました

4. 子どもが怯えてしまっている
 - 外で起こった出来事が頭から離れない
 - みなさんならば、どうしますか？

➤ それが何か分かったら、みんな助けられる

➤ だから見てきて教えてほしいの

- 保護者を含めみんなが助かると促す



17

このように解釈しました

5. 彗星は、何を象徴していたのか？

➤ 人生の中で遭遇する**予測不能、制御不能な**出来事

- 災害
- 事故
- 事件
- 戦争



18

このように解釈しました

6. ムーミン一家は、家に入りをする存在を「家族」に制限していない

- ということを示唆しているか

- 家族や家庭内教育よりもむしろ
- 社会の中の一員として「共に育つ」



19

5分間の話し合い

●「ムーミン谷の彗星」からの解釈

- ① 家庭から社会への橋渡し
- ② 社会の中の一員として「共に育つ」

● 今回の話の感想

- みなさんは、上記の解釈を—
 - どのように受け止め
 - どのように考えるか



20

まとめに代えて

- ムーミンの物語はさまざまな読み取り方(解釈)を可能にするよう構成されているようです。
- 今回、ムーミンパパとママがしっかりとした大人として描かれていました。
- 「ムーミンパパ海へいく」では、パパが自分の存在の意味を疑い、ママも冷静でなくなって共に自分探しをしているような展開があります。
- 親は親なりに悩みながら過ごしているとも解釈できます。

21

文献

- トーベ・ヤンソン 作・絵 1946/1968(下村隆一 訳 1969) ムーミン谷の彗星 講談社文庫(2011年4月15日新装版)
- 特集 ムーミンを生んだ芸術家 トーヴェ・ヤンソンのすべて (2009) 芸術新潮 5月号 新潮社
- 富原眞弓 (2004) ムーミンを読む 講談社
- 富原眞弓 (2008) ムーミン谷のひみつ ちくま文庫

2011/6/12

22